



JAPAN ACADEMY OF MOVING IMAGES

GRADUATION FILM

日本映画学校 第24回 卒業制作上映会

2012.3.3 SAT - 3.4 SUN 会場:スペースFS汐留

JAPAN ACADEMY OF MOVING IMAGES

GRADUATION FILM

日本映画学校 第24回 卒業制作上映会

TIME SCHEDULE

タイムスケジュール

3.3^{SAT}

11:00 歌いません
11:55 明日へ
12:50 北風
13:55 波にのまれて
14:50 不肖の娘
15:40 リセット
16:35 スーパーローテーション
18:15 オカメくん●○ハチモクさん

3.4^{SUN}

11:00 いつよいつよ
12:10 Voy! ~ある選手たちの戦い~
13:10 シュプレヒコール
14:10 波にのまれて
15:05 北風
16:00 不肖の娘
16:55 オカメくん●○ハチモクさん
18:15 スーパーローテーション

CONTENTS

03 — INTRODUCTION

イントロダクション

04 — ABOUT THE MOVIE

映像科作品紹介

11 — MESSAGE TO STUDENTS

映像科の学生達へ

12 — ABOUT ACTING CLASS

俳優科紹介

14 — ABOUT THE MOVIE

俳優科作品紹介

17 — MESSAGE TO STUDENTS

俳優科の学生達へ

18 — STUDENT COMMENTS

学生コメント

21 — SPECIAL THANKS

スペシャルサンクス

INTRODUCTION

イントロダクション

卒業制作上映会に向けて



日本映画大学 学長 佐藤忠男

日本映画大学の卒業制作発表会には輝かしい伝統がある。卒業制作は、あくまで学校での学習の成果を確認するためのものであって、本当の実力は卒業後、社会に出て、映画やテレビやその他の現場で腕を磨いて発揮すればいいのであるが、我校の卒業生の中には、この卒業制作の作品自体がプロとしての第一作として広く認められることになった人が何人もいる。今、映画界の第一線で注目の的になっている李相日や松江哲明などの監督たちがそうだ。

李相日監督脚本の『青～ chong～』や松江哲明が自作自演した『あんによんキムチ』が最初に観客に公開されたのは、この卒業制作上映会だった。この上映会で早くも確実な手応えがあり、その後彼らは、そこで得た人々の期待に着実に応えながら、一作毎に注目されていった。他にもここで注目されて他の映画祭や劇場公開に至った作品は少なくない。今年もそんな作品が何本もあるのではないかと私は期待している。いや、きっとある。

想定外と卒業制作



日本映画学校 校長 千葉茂樹

2011年3・11に起こった東北地方の大地震と津波、そして原発事故は、卒業を迎える君たちにとって生涯忘れることが出来ない事態となった。その「東日本大災害」の渦中で、映画学校を続ける事が不可能となった仲間たちもあった。当然卒業制作そのものにも大小さまざまな障害が起こった筈である。

特に、未だに収束出来ない原発被害は将来メディアに関わる仕事に向おうという君たちに想定外の課題を突きつけている。しかし、人生には想定外の事態が起こることも覚悟しなければならない。

第1に心したい事は、卒業制作を今日まで支えてくれた多くの存在に気付いて、感謝することではないだろうか。これまでに自分を育て励ました保護者たちはもちろん、恩師や仲間の存在に感謝したいのである。

2番目には、自分の弱さ・欠けている自分に心をとめたい。その点に気づくことが出来たら、その反省にたって今後を歩めばいい。その反省が将来の君の財産になってくれる筈である。

そして、3つ目は若い君たちの可能性に気づくこと。その可能性を信じることは勇気が湧いてくることである。勇気を持とう。君たちの輝かしい未来を信じて乾杯。

映画演出コース+
技術コース合同A班

北風

[ドラマ / 16mm / 32min]

CAST

岩岡将宏
只野あつ子
鈴木一功
柳原純子
佐野元哉

STAFF

監督・脚本	李 鎮雨
プロデューサー	日野岳唯人
副プロデューサー	船田 智
制作	宮川圭太 中野 望
助監督	吉崎祥太 柴田啓佑 中田俊一
美術	中村陽子
衣裳	我妻未季
撮影	番匠道人 佃 友和 大河内保志
照明	中城京祐 細川遼平
録音	内山奈津子 山口オリエ
編集	河野 慧 黒田真平 原田権也 中邨元気 我妻未季 日高直人 北野剛志
記録	北野剛志

ADVISOR

制作 細野辰興
撮影照明 石渡 均
録音 中山隆匡
編集 境 誠一

STORY

閑散とした田舎町で一人の少女が行方不明となる。それから30年の時がたち、娘を探し続ける認知症の母と妹の元に留学生がやってくる。だが彼には大きな秘密があった……。



映画演出コース+
技術コース合同B班

波にのまれて

[ドラマ / 16mm / 32min]

CAST

山本ゆめ
薫
大地泰仁
寺林弘達
赤間麻里子
上川原睦
谷一步
岡本さと子
タマ
高橋一生(特別出演)

STAFF

監督・脚本	峯田秋桜美
プロデューサー	仲田 亮
副プロデューサー	宇津野達哉
制作	韓澈岷
助監督	安河内瑠美
	宮崎和彦
	澤田元希
美術	鳥海佑太
撮影	畠山 航
	藤永 岳
	岩崎かおり
照明	古川隆柁
	小林真理子
録音	松本翔太
	仲條美樹
	小林理子
	澤村 開
編集	坪井之浩
	大西孝国
	松金良彦
	立野大助
記録	田中安美

ADVISOR

制作 富樫 森
撮影照明 石渡 均
録音 中山隆匡
編集 境 誠一

STORY

「ひよりはね、悲しみの波にのまれてるの」…彼氏に浮気され家を飛び出したひよりは、偶然旧友の知花と再会し一緒に暮らすことに。自由奔放な知花に惹かれていくひよりだったが…。



映画演出コース＋
技術コース合同C班

不肖の娘

[ドラマ / Blu-ray / 32min]

CAST

太田順子
中川真
山口礼子
春山怜那
松原佑允
武田由樹
中澤ヒズレンヌ聡
西川太清
弓削敦信
梅澤祐一
井村 昂

STAFF

監督・脚本	有馬達之介
プロデューサー	李 進洋
制作	大黒友也 沓掛啓介
助監督	原田眞行 堀池成陽 佐賀里幸伸
衣裳	齊藤美希
撮影	内藤昇平 瀬口健太 信田征輝 井戸湧太
照明	長尾成剛
録音	荒井るり子 徳田健悟
編集	吉川智也 深津拓也 遠藤龍祐 山崎千聡
記録	片岡万里子

ADVISOR

制作	中原 俊 久保朝洋
撮影照明	石渡 均
録音	中山隆匡
編集	境 誠一

STORY

人材派遣会社に勤める聡子は満たされない気持ちをセフレとの関係で埋めていた。ある日、父の病気の悪化を知り実家に戻ると、高校時代の恋人であった坊主の修道と再会する。





脚本演出コース+
技術コース合同

リセット

[ドラマ / Blu-ray / 37min]



CAST

千葉美紅
中田暁良
馬場野々香
米元信太郎
松下幸司
河原杏子
泉水美和子
野口雅弘

STAFF

監督・脚本 内匠真悠子(1話)
竹山大貴(2話)
室伏雄太(3話)
インゴ・ピルチ(4話)

プロデューサー 中尾海帆
制作・助監督・美術・衣装 中尾海帆
内匠真悠子
竹山大貴
室伏雄太
インゴ・ピルチ

撮影 中城京祐
佃 友和
島山 航

ADVISOR

制作 渡辺千明
河本瑞貴
栃原廣昭
撮影照明 石渡 均
録音 中山隆匡
編集 境 誠一

照明 番匠道人
藤永 岳

録音 澤村 開
黒田真平
河野 慧
小林理子

編集 原田権也
深津拓也
日高直人
中邨元気



STORY

“この世の中をリセットするんだ”仕事、家族、全てを失った男は、爆弾を手に街へと出るが——。家族、兄弟、恋人との関係を【リセット】したい登場人物たちの葛藤を描く計4話のオムニバス。



映像ジャーナルコースA班

Voy! ~ある選手たちの戦い~

[ドキュメンタリー / HDV / 40min]

CAST

佐々木康弘
加藤健人
武内美奈子
ブラインドサッカー日本代表

STAFF

プロデューサー・録音 森重 智
撮影 青江 天
編集 河口清恵
監督 児玉有紀

ADVISOR

制作 千葉茂樹
演出 島田隆一
撮影 山内大堂
編集 辻井 潔

STORY

アイマスクに鈴の音の鳴るボール……近年、注目を集めているスポーツ、その名はブラインドサッカー。この作品はパラリンピック最後のひと枠をかけ大会へと挑む選手たちの物語だ。

映像ジャーナルコースB班

いつよ いつよ

[ドキュメンタリー / HDV / 40min]

CAST

伊計 強

STAFF

監督・構成 原口花琳
プロデューサー 馬場幹大
撮影 沼倉光乃
録音 馬場幹大
編集 馬場幹大
原口花琳

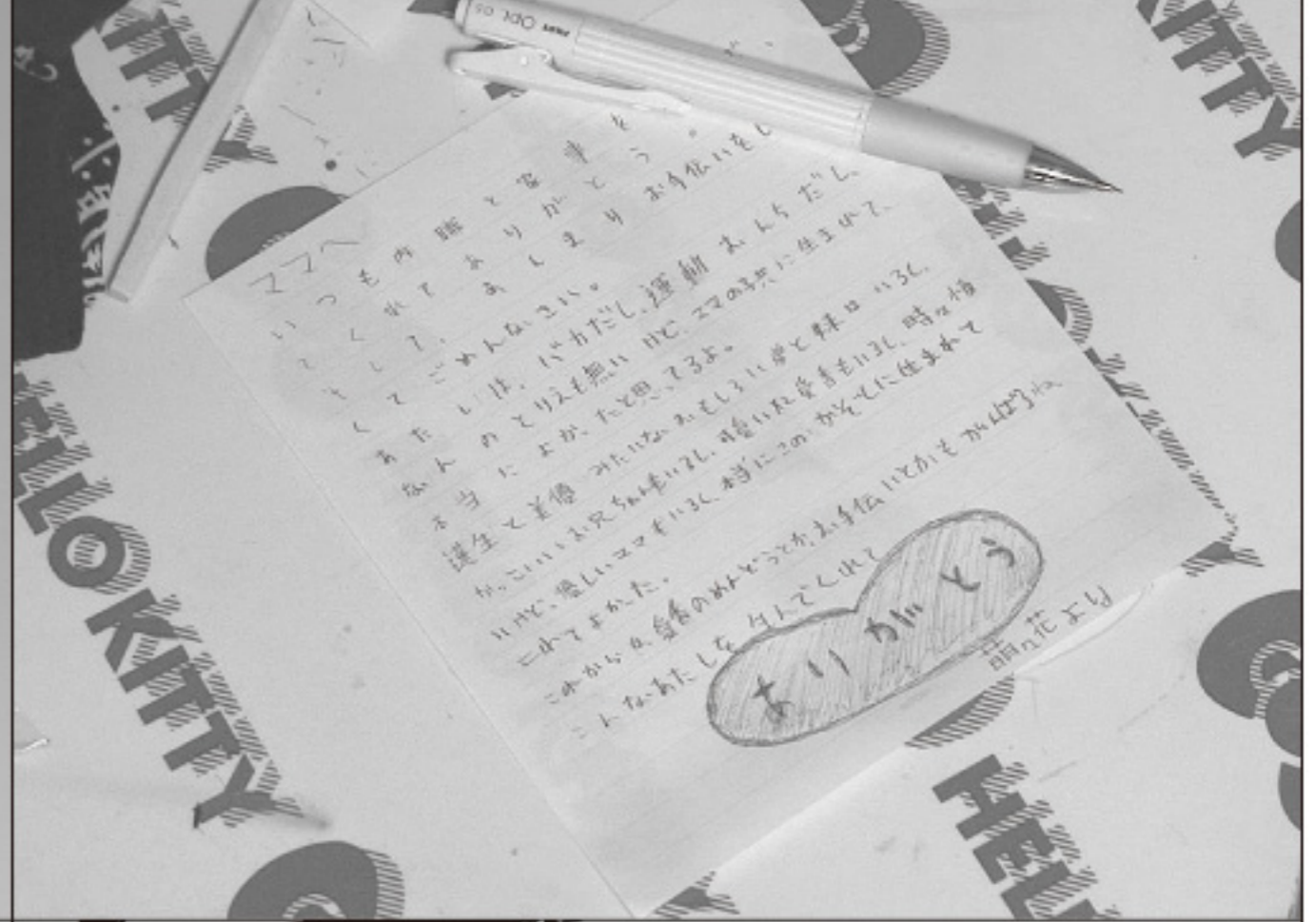
ADVISOR

制作 千葉茂樹
演出 島田隆一
撮影 山内大堂
編集 辻井 潔

STORY

宮古島で様々な布を使った“島パン”を作り続ける伊計強。豊かな自然や温かい人々の中で、今日も彼は布を繋いでいく。

いつよいつよ…ミンサー織の五と四の柄に由来する「いつの世までも末永く」の意味



映像ジャーナルコースC班

シュプレヒコール

[ドキュメンタリー / HDV / 40min]

CAST

石山和雄
藤田昌彦
森 絹江
藤田朋広

STAFF

監督 佐藤葉子
プロデューサー 國友勇吾
制作 松野颯太
撮影 唐崎慎太郎
録音 澤村耕太郎
編集 國友勇吾

ADVISOR

制作 千葉茂樹
演出 島田隆一
撮影 山内大堂
編集 辻井 潔

STORY

1966年に国策の名の下、建設が決まった成田空港。1978年の開港直前、反対派の人々により管制塔が占拠され、開港が延期される事件が起こる。この闘争に関わった者たちの33年を追う。

映像ジャーナルコースD班

ふつうのかぞく

[ドキュメンタリー / HDV / 40min]

CAST

桐生貴子
桐生大器
桐生萌々花
桐生蓮生
桐生美優
桐生愛香

STAFF

監督 野地紗和佳
プロデューサー・制作 藤代文彦
撮影 藤沢奈々子
録音・編集 木原敬大

ADVISOR

制作 千葉茂樹
演出 島田隆一
撮影 山内大堂
編集 辻井 潔

STORY

※こちらの作品は都合により上映いたしません

5人の子を持つシングルマザー桐生貴子。3度の結婚と3度の離婚を経験、今彼女には結婚を考えている彼氏がいる。彼女と彼女が育んだ父親の違う子供達を通じて、命という愛の証明を描く。



技術コース合同A班

明日へ

[ドラマ / 16mm / 24min]

CAST

尾崎 愛
立石洋介
毛塚智哉
和田みさ
上野峻典
土田愛恵
影山 巖
田中宏明

STAFF

監督 全 紅花
脚本 天願大介
プロデューサー 古川隆証
副プロデューサー 細川遼平
制作 日高直人
助監督 中城京祐
田中安美
松金良彦
美術 山崎千聡
仲條美樹
衣装 田中安美
撮影 大河内保志
瀬口健太
岩崎かおり
照明 信田征輝
井戸湧太
録音 長尾成剛
黒田真平
河野 慧
澤村 開
仲條美樹
中邨元気
北野剛志
日高直人
山崎千聡
松金良彦
田中安美
編集
記録

ADVISOR

制作 石渡 均
撮影照明 石渡 均
録音 中山隆匡
編集 境 誠一

STORY

夫からの日常的な暴力に悩まされていた明美は、傷だらけの少年・章と出会う。章もまた家族に暴力をふるわれていた。だが明るく前向きに生きようとする章に怯えるだけだった明美は…。

技術コース合同B班

歌いません。

[ドラマ / 16mm / 31min]

CAST

岸田恵里子
山下奈々香
石高由貴
矢崎初音
下村響子
上村依子
森 喜行
佐野代吉
川又彩乃
内山奈津子
藤 夏子

STAFF

監督 原田権也
脚本 緒方 明
吉川菜美
原田権也
深津拓也
我妻未季
プロデューサー 大西孝国
副プロデューサー 吉川智也
制作 坪井之浩
徳田健悟
助監督 深津拓也
遠藤龍祐
立野大助
美術 遠藤龍祐
立野大助
衣装・メイク 我妻未季
撮影 佃 友和
畠山 航
藤永 岳
照明 小林真理子
番匠道人
内藤昇平
録音 小林理子
松本翔太
荒井るり子
山口オリエ
内山奈津子
立野大助
遠藤龍祐
我妻未季
記録 片岡万里子

ADVISOR

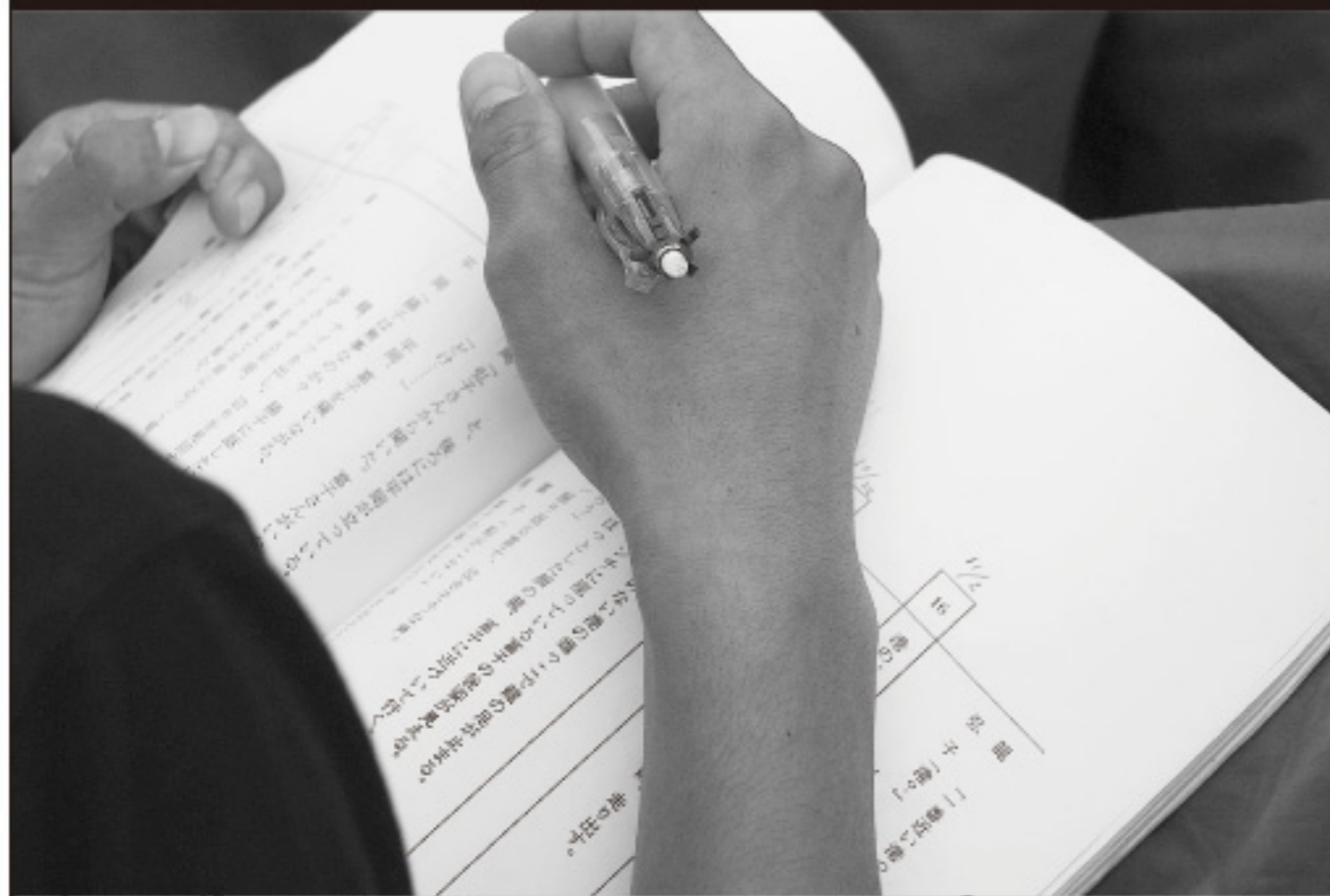
制作 境 誠一
中山隆匡
撮影照明 石渡 均
録音 中山隆匡
編集 境 誠一

STORY

合唱部仲間と衝突してしまった哀は、コンクールの当日に逃げ出してしまふ。田舎駅に降りたつた哀は、心のわだかまりを胸に抱えながら歩いていると、そこに偏屈なおばあさんが通りかかって…。

MESSAGE TO STUDENTS

映像科の学生達へ



最後の最後に贈る言葉



3年映像科学年主任 映画監督 細野辰興

さて、第24期の諸君は、私が直接関わる最後の日本映画学校の学生となってしまった。

今村昌平監督に声をかけて戴き、柄でもない講師をやらせて貰って21年。その間に日本も映画界も、否、世界までもがより困難な状況に変化していった。

その中に君たちは船出して行かなければならない。

しかし、何時の時代だって映画を志す新人にとっては、困難な状況の連続だった。

既成価値、既得権など保守の壁は厚く立ち塞がり、組織は人を育てようとはしない。しかも出る杭は打たれる。

そんな中で、仕事を覚え、社会のシステムを識り、デビューする機会を窺いながら牙を研ぎ続けなければならない。

シツッコク、タフに、クレイジーになって諦めずにやっていくしかないのだ。

必ずや道は開けるッ、とは言えない。しかし、必ずや何かを掴むことは出来るッ。それが自分の自信になって行き、生きる上での揺るがない軸が出来ていくはずだ。

一番大切なことだと思う。

最後の最後に贈る言葉を頭の片隅でも覚えておいて「檄」として貰えれば幸甚です。

「ボウフラが 人の血を吸う蚊に成るまでは 泥水呑み呑み 浮き沈み」

現場で会おうッ。

ABOUT STUDENTS

俳優科 学生紹介



安齋直哉

あんざいなおや



石津秀道

いしづしゅうどう



小澤孝輔

おざわこうすけ



國仲菜摘

くになかなつみ



倉持幸歩

くらもちゆきほ



小泉将臣

こいずみまさおみ



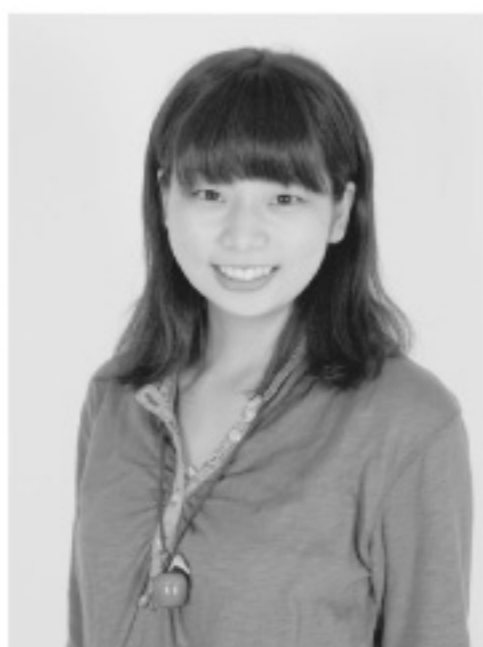
小宮 咲

こみやさき



下村響子

しもむらきょうこ



杉村美咲

すぎむらみさき



鈴木 亮

すずきりょう



中島浩貴

なかじまこうき



中村圭吾

なかむらけいご



本田智宏

ほんだともひろ



槲田健太郎

ますだけんたろう



光木麻美

みつきあさみ



山上 遊

やまかみゆう



吉田和希

よしだかずき

MESSAGE TO STUDENTS

俳優科の学生達へ



上松大祐

うえまつだいすけ



上村悠輔

うえむらゆうすけ



佐藤宏祐

さとうこうすけ



嶋田康平

しまだこうへい



埜 心規

はなわもとき



藤原 慧

ふじわらけい



芳野裕太

よしのゆうた



渡邊直城

わたなべなおき

25期生諸氏へ



俳優科担任 山本隆世

俳優科25期生25名が卒業する。「日本映画学校」最期の俳優科である。“最期”であることについて殊更神妙になる必要はないけれど、卒業後の“これから”については、かなり真剣に考えた方がよからう。

——昨年4月、2年次の担任として彼らと出会った。クラスの状態はヒドかった。時間に揃わない。誰か遅刻する。誰か休む。連絡はない。座学は1時間持たない。誰か欠伸する。誰か寝る。掃除しない。片付けない。他人任せ。誰か不機嫌…互いに牽制し合っているような、どこか関わりを諦めたようなどんよりした空気が漂っていた。

深夜バイトを休めない経済状況や、人間関係の多少のぎくしゃくがあったにせよ、いつの間にか彼らは影響を受け合うことを避けるかのように距離を取り、そして自分自身をガードしていた。彼ら一人一人は狡猾でも計算高くもない。シャイでどちらかといえばドン臭い。格好つけてる場合ではない。なのに踏み込まない踏み込ませない。芝居をさせると孤立と防御。結果、「演じる」という“自分で無いもの”との共同作業も楽しめずにいる。彼らには不満だったろうが、リハビリのような訓練を繰り返した。「相手を見ろ。よく見ろ。よく見てるうちに網膜が何か感じる。感じたらそれがキミの想像力だから。」…そして1年。

25期生諸氏へ。卒業ドラマでは緒方・斎藤両監督に随分怒られたけれども、辛くて思わず目を逸らしたことや耳を閉じたことが、キミたちの「これから」に必要なことだと思います。両監督、多くのスタッフ、それから本日の観客の皆さんから頂いた刺激を、活かすも活かさぬもキミたち自身です。



俳優科卒業ドラマ作品

オカメくん●○ハチモクさん

[ドラマ / Blu-ray / 53min]

STORY

全国高校囲碁大会・団体戦に選ばれた正樹・学・花与の3人。だが個人戦出場を逸した正樹にとっては屈辱のチーム戦。出場辞退か!? 花与の捨て身の説得で危機を乗り越えた3人は。

CAST

上村悠輔
 本田智宏
 杉村美咲
 佐藤宏祐
 國仲菜摘
 石津秀道
 鈴木 亮
 光木麻美
 樹田健太郎
 吉田和希
 山上 遊
 塙 心規
 安齋直哉

添田有貴
 杉山大輔
 高本歩輝

正木佐和
 山本隆世
 加瀬慎一
 藤田 傳

STAFF

監督 緒方 明
 脚本 井上静美
 緒方 明
 プロデューサー 山本隆世
 加瀬慎一
 ラインプロデューサー 湊谷恭史
 音楽 嶋原浩平
 撮影・照明 今井 巧
 美術 黒川通利
 録音 中山隆匡
 編集 矢船陽介
 衣裳 宮本まさ江
 助監督 浅利 宏
 制作担当 梅澤ゆきみ
 阿部史嗣
 B班撮影 橋本彩子
 監督助手 飯島将史
 井上静美
 山村卓也
 撮影助手 福岡淳太郎
 美術助手 大原清孝
 美術応援 岩丸 恒
 録音応援 小林由加子
 編集応援 稲川実希
 カラリスト・クレジット制作 加藤詩織
 整音助手 成ヶ澤玲
 スチール 曾根大樹



俳優科卒業ドラマ作品

スーパーローテーション

[ドラマ / Blu-ray / 77min]

STORY

恋人の朔也と別れたばかりの由貴は、演劇学校の同期生達と小旅行に出る。由貴は晃太と惹かれ合うが、朔也が戻り…。恋は終わり、また始まり、終わる。優しい傷跡を残して。

CAST

下村響子
 藤原 慧
 小泉将臣
 倉持幸歩
 中村圭吾
 小宮 咲
 嶋田康平
 上松大祐
 芳野裕太
 小澤孝輔
 渡邊直城

大竹智子
 大竹 勝

安藤 尋

STAFF

監督 斎藤久志
 脚本 加瀬仁美
 加瀬慎一
 プロデューサー 山本隆世
 ライン・プロデューサー 池原 健
 撮影 水口智之
 録音 齋藤泰陽
 美術 高橋俊秋
 スタイリスト 宮本茉莉
 衣裳 加瀬仁美
 メイク 内城千栄子
 編集 小林由加子
 音楽 Tokyo Grand
 石塚徹
 山口雄太
 山根美和子
 助監督 西 保典
 制作主任 田山雅也
 音楽プロデューサー 田井モトヨシ
 監督助手 伊藤裕満
 磯貝恒志
 撮影助手 北村 恵
 大河内保志
 三輪亮達
 内藤昇平
 録音助手 徳田健悟
 山下啓助

制作応援	芦澤浩明	美術協力	アカシア書店
制作デスク	石塚崇央		日本棋院
	長島 晃		誠文堂新光社 囲碁編集部
主題歌	『恋のリミット』		財団法人 平塚市まちづくり文化振興財団 文化事業部
	作詞：緒方 明		(c) ほったゆみ・小畑健／集英社
	作曲：嶋原浩平	撮影協力	伊藤和由 稲垣友介 えびねひさよ
	歌：蝦名 恵		川口 学 河本瑞貴 鈴木仁孝
音楽協力	Majix		鈴木孝之 柄原廣昭 吉野 潤
	穴戸留美		稲城市いなぎグリーンウェルネス財団
音楽エンジニア	徳毛伸一		岩波書店 『広辞苑』編集部
キーボード演奏	高野 勲		柿生基会所
学生スタッフ・演出部	堀口茂樹		料亭 柏屋
// 撮影部	岩崎かおり 高橋草太 井戸湧太 古川隆証		川崎市民ミュージアム
// 録音部	荒井るり子 朴 厚相 内山奈津子 小林理子		埼玉少年少女囲碁協会
	仲條美樹 山口オリエ 松本翔太		埼玉県高校囲碁連盟
// 美術部	中村陽子		宗教法人 杉山社
// 制作部	宮川佳太 中田俊一 吉崎祥太		立川フィルムコミッション
学生エキストラ	青木思穂 李 京河 石川美樹 一色莉沙		たまがわ・みらいパーク
	伊藤和馬 伊東裕輔 井上純平 遠藤祐輝		日本棋院さいたま新都心支部
	小笠原悠 尾形卓朗 倉科慎太郎 小池慎一郎		日本映画大学
	小松慎平 境 千花 須田英仁 関祐太郎		第35回全国高等学校総合文化祭福島県実行委員会囲碁部会
	武井沙也佳 田中博巳 崔 花郎 長尾 元	協力	THEFOOL
	長崎豊晴 中山 徹 新甫慎太郎 新村隆明		Cinema Sound Works
	福田桃子 前原次朗 眞野嵩之 水野寛之		Transformer
	三宅海斗 村上健太 村上俊輔 安永 翔		フィルム・クラフト
	四宮龍之介 友利水貴 吉田有希		ワード・ロープ
		製作	日本映画学校

美術助手	佐藤 希	美術協力	劇団民藝
	陳内恒河	衣裳協力	CHUMS
スタイリスト助手	田口 慧		Wedding Market
カラコレ	稲川実希	撮影協力	千葉県立内浦山県民の森
編集助手	野澤 瞳		千成瓢箪 養老乃瀧 国領駅前店
車輛応援	大西 裕		ブラネアール
	西川太清		あつぎフィルム・コミッション協議会
	坂本 礼		仁科進
制作進行	木村洋輔		新百合山手公園管理運営協議会
制作デスク	長島 晃		マツモトキヨシ 厚木下荻野店
	石塚崇央		古畑耕平
挿入歌	「恋のバカンス」		ラ・セパ
	作詞：岩谷時子		金井クラブ
	作曲・編曲：宮川 泰		鴨川市
Orchestra		協力	Cinema Sound Works
			山崎美術
エキストラ協力	荒木三奈 荒木 晏		スタンス
	萱場ひとみ 川久保直貴		ラパン
	近藤紫乃 野作絵里子		ボイス&ハート
	初見弘貴 松田知子		日本照明
	和久田耀平		第一興商
	小川紗輝 鈴木孝之		製作
	長谷川桜子 眞野嵩之		日本映画学校
	村上俊輔		



MESSAGE TO STUDENTS

俳優科の学生達へ

「ねえ。芝居、好き？」



『オカメくん●○ハチモクさん』監督 緒方 明

「精一杯頑張ります！」俳優科の誰もが口を揃えて言った。しかし君たちは本当に「頑張れた」のだろうか。普段から「役者になる」「演技をする」ということを深く向き合っていない者がいきなり現場に来て文字通り「見てられない」結果となる。想像力のなさ、管理できてない肉体。伝統ある日本映画学校俳優科最後の卒業制作がこれでいいのかと常に思いながらの苦しい撮影だった。完成した作品(のようなもの)を観て君たちは何を思うのだろうか。もし君が卒業しても役者を目指そうと思うのなら画面を見て「悔しさ」を感じてほしい。そしてその悔しさをバネにして、いつの日か幼さを葬り、若さを武器に成長した君に現場で再会した時、私は初めて「おめでとう」と賛辞を送ることにしよう。今はラストシーンのセリフを君たちに贈るのみです。最後にこれまで俳優科に関わってこられた講師、教務の皆様、本当にご苦労様でした。そして本作のスタッフ諸氏へ。大感謝です。

「芝居をするな。感じろ」



『スーパーローテーション』監督 斎藤久志

一本は一本だ。何十億の映画(なんてやったことないが)だろうと、低予算の映画だろうと作るという行為には変りはない。たとえそれが俳優科卒業制作であろうと同じことだ。どんな映画にも条件がある。その条件が今回は日本映画学校25期俳優科を使って撮るということだったというだけだ。

俺は俺の映画を作った。

25期日本映画学校の俳優科11名の君たちはどうだったんだろうか？

演技の出来不出来を言っているのではない。作品に定着した演技は、監督である俺にも責任はある。それ以前の問題だ。

単なる実習のひとつだったのではないだろうか？ 思い出作り程度の考えでいなかったか？ 出番の少なさを不満に思っていなかっただろうか？ そう思っていたとしてもだ…。

「芝居をするな。感じろ」と何度となく言ったと思う。それはその場所に、登場人物のひとりとして生きていて欲しかったからだ。だから役の大小は関係ない。演技の上手い下手でもない。自分の人生をそこに投げ出せたかだ。そのことはごまかしようもなく映ってしまう。

君たちのうち何人が『スーパーローテーション』の中を「生きれた」だろうか？ 「映画」は物語を語るものだけではない。人生を(人を)語るものでもあると思う。

JAPAN ACADEMY OF MOVING IMAGES

GRADUATION FILM

2012.3.3 SAT - 3.4 SUN
日本映画学校 第24回 卒業制作上映会

日本映画学校
www.eiga.ac.jp

STUDENT COMMENTS 学生コメント

仕上げ作業や就職活動など忙しい中、
学生15名に「卒業制作を終えて」をテーマに
コメントをいただきました。

これからも 映画を好きであり続けたい。

自分がこの学校で3年間やっていけるかが心配だった。けれど映画が好きだという気持ちに嘘はなかった。プロデューサーと照明技師という大変な毎日だったが、仲間や講師の方支え、そして何より映画が好きだから乗り越えられたんだと思う。

古川隆証

『明日へ』プロデューサー / 『波にのまれて』照明技師

映画一本に 正面から向き合わないと、 己自身の作品とは言えない。

「撮影は脚本を立体化する作業。ポスプロは、第2の構成作業」とは細野辰興氏の言葉。この3年間で己の意見に対して責任を持つ事を体感した。言葉にするのは簡単だが、真正面から映画に向き合わないと己自身の作品とは言えない。映画の基礎、演出論を学んできたが得た物が多すぎて書ききれないくらいである。

『北風』副プロデューサー **船田 智**

構成 曾根大樹
編集 芦澤浩明・山本隆世



やっと自分は 人になり始めた気がする。 早く人間になりたーい!

先日、2歳になる姪がうちに来た。親が「ありがとうは？」と聞くと姪は「ありがとう」と言って見せた。それは感謝のフリなのだが、姪は“人”になろうとしているのだと感じた。翻って考えると、自分は“人”になれているか不安になる。歳をとり巧くなったフリで人間関係から逃げたのでは？ 卒制を終えた今言えるのはフリではなく感謝を伝えたい人が沢山いるという事。やっと自分は人になり始めた気がする。早く人間になりたーい!

『不肖の娘』監督・脚本 **有馬達之介**



本番ではダイバーの方と 本栖湖に3m程潜り 水中撮影をしました。

今回の卒業制作ではクライマックスの湖のシーンで水中撮影という貴重な経験が出来ました。水中では踏ん張りが利かず、少しでも動くと流れそうになり苦労しました。深く潜るにつれて水は澄んで綺麗になり魚の群れも見ることが出来ました。水面に浮かぶ人を下から見ることがなかったので不思議な気持ちになったのと同時に感動したのを覚えています。この経験を無駄にせずに、常に前進していきたいと思います。

『波にのまれて』カメラマン **畠山 航**





テープ総数が100を超えた時は正直、眩暈がした。

予備取材などを含めると丸2年、この題材に取り組んできた。3人の仲間にも恵まれた。ブラインドサッカー、日本代表の方々のプレーを間近で見る事が出来るのは本当に感激だった。テープ総数が100を超えた時は正直、眩暈がした。しかしそのどれもに素晴らしい一瞬が映っていた。最後に関わって頂いた全ての方に厚くお礼申し上げます。

児玉有紀

『Voy! ~ある選手たちの戦い~』監督・構成・録音

脚本に登場する物語の鍵、巨大なオブジェ。

脚本に登場する物語の鍵、巨大なオブジェ。担当講師から指名を受けて何日も話し合っ、デザインも素材も予算限界まで知恵を絞って、色んな人達に助けられ完成させた。けれどラッシュを見るともっとこうしたら良かったと思ってしまう。でもそれと同時に次はもっと上手く出来るとワクワクしている自分もいる。きっとそれは映画が人にかける魔法のせいなのだろう。

『不肖の娘』セカンド助監督・美術 堀池成陽



『不肖の娘』墓心のオブジェ撮影中

COLUM

「日本映画学校」の卒業制作について

映像科の卒業制作作品は昨年春から準備を始め、完成までに至る全てを学生たちが手掛けました。また俳優科作品はプロの監督・スタッフによるドラマ制作で、出演は俳優科の学生です。完成した作品は毎年国内外のコンクールで受賞し、高い評価を得ています。

卒業制作で改めて映画の原点がわかった気がします。それはチームワークです。自分が悩んでる時、チームメイトには随分助けられました。全スタッフに感謝しています。このチームでやれて本当に良かった!

『北風』カメラマン 番匠道人



今新たなスタートラインに立っている感じがします。

私は今回、C班のプロデューサーを務めたのですが、これまでに比べて予算も多く、キャストもほとんどがプロの方々…。『不肖の娘』では、登場人物やロケ地、造型物や葬儀、それに伴う多数のエキストラなど難題も多く、スタッフは幾度となく頭を抱えていました。それでも自分たちが今出来ることは何か、如何に工夫すれば良いかを考え、完成させることが出来ました。実習を終え、今新たなスタートラインに立っている感じがします。

『不肖の娘』プロデューサー 李 進洋

「ただの技術提供者になるな」の言葉をもう一度深く考えたい

新しい課題が見つかったような気がします。私達はスケジュール通りにテキパキと撮ることは出来ていたのですが、その分、監督や俳優部と一緒に作品のことで苦しむということが出来ませんでした。大事なことは一体感のある雰囲気を作ることだったんじゃないかと、今は深く反省しています。2年の頃、講師の佐野さんに言われた「ただの技術提供者になるな」の言葉をもう一度深く考えて、今後に生かしたいです。

『不肖の娘』撮影チーフ 瀬口健太



人の温かさを感じた実習になりました。

私含めて5人しかいない演出部と、掛け持ちで来てくれた技術部の皆で作上げた『リセット』。短編とはいえ、同期間に4つの作品を作る大変さは計り知れませんでした。ロケ地と美術品の多さ、そして4つの脚本を同時に直すこと、それらを1つの作品として作り上げることに苦労しました。多くの方々に助けられ、自分の実力の無さを痛感したとともに、人の温かさを感じた実習になりました。

『リセット』プロデューサー 中尾海帆



常に考え 感じ想像しているか?

録音部にとっての映画制作は撮影が半分、仕上げがもう半分。今回、『北風』の現場でマイクマンを、『リセット』で録音技師をし、その仕上げもすることになります。二つの現場に行き思ったことは「常に考え感じ想像しているか?」ということでした。個人によってその感度は違うにしろ、理想は「全員が最大感度」だったはず。理想にどこまで近づけていたのでしょうか。まずは自分の感度をもう少し上げないといかないかな。

『北風』録音助手 / 『リセット』録音技師 黒田真平





こちらから
ジャンプ!!

http://jami24.ninja-web.net

日本映画学校 第24回 卒業制作上映会 公式ホームページ

学生の映画の現場を記録した「メイキング・オブ・卒業制作」や、予告編動画、現場レポートなど、上映会作品の舞台裏がのぞけます。



記録として編集として ネガ編集でも頭を悩ませました。

現場では記録として頭を悩まし、編集では監督の意思を尊重しつつ最大限活かすことに頭を悩まし、最後のネガ編集でも手が震えました。でも重みを感じる瞬間が僕は嬉しい。たとえ空回りしても力を注いだ分、何かがある。重要だと思ったのは、自分の考えをいかにうまく皆にプレゼンできるかってこと。

『北風』記録・編集部 **北野剛志**

完成した作品を観る時は いつもどきどきします。

四話構成のオムニバス作品と変則的な編集で、かなり苦労をしました。完成した作品を観る時はいつもどきどきしますが、今回は一番どきどきしたかもしれません。その分すべてが終わった後の満足感が一番でした。夢の為にする苦労は必ず自分の為になるということです。楽しい三年間でした。

『リセット』編集部チーフ **中邨元気**

好きなことに全力であること

芝居ってなんだろう。撮影中、たくさんのことを考えた。私が今までの人生で、芝居について一番考えた日々だった。緒方監督からは、たくさん叱られ、そしてたくさん言葉を頂いた。特に「好きなことをサボるなんて最低だな」という言葉。芝居に対する自分の気持ちを、自分自身に問い詰めた。それは今まで私が散々逃げていたことだった。

卒業後、辛くない日々が何日あるだろうか。それでも、自分の好きだと思えることは胸を張って「私は今、全力です!」と言える自分になります。

『オカメくん●ハチモクさん』花与役 **杉村美咲**



憧れの人が語るもの

「海岸に立つ高倉健には、それだけで説得力がある」斎藤久志監督は静かに僕の憧れの人を例に出した。「役としてそこに存在してくれば立っているだけでいい。頭じゃない。感じてくれ」淡々と冷静に、時にニヤニヤしながら監督はそう繰り返した。俳優とは職業ではなく生き方だと思う。技術ではなく、スクリーンの中に“存在”したい。——“俳優が何かを何万遍言っても意味はないんだよ。俳優は絵の中で感じてもらうしか、言葉を持っていないもの…(高倉健 1988/5/5号 DIME より)”言葉より語るものが出る生き方をしなければいけない。僕は今、孵化するのだから。

『スーパーローテーション』見太役 **小泉将臣**



SPECIAL THANKS

卒業制作にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。



協賛

Kodak
Motion Picture Film

FUJIFILM
報映産業株式会社

協力

IMAGICA

YOKOCINE D.I.A.

<スペシャルサンクス>

現像所 横山雄志 (株)IMAGICA
水谷真里 (株)IMAGICA
江川太洋 ヨコシネDIA

タイミング 倉森 武 (株)IMAGICA

光学リレコ 狩野 靖 ヨコシネDIA

美術協力 川崎市橋りサイクル
コミュニティセンター

フィルム協賛 久保添倫成 コダック(株)
神田 務 報映産業(株)
大塚慶介 報映産業(株)

車両協力 トヨタレンタリース新百合ヶ丘店
内藤謙二
(株)フィールドサービス

協力 川崎市黒川青少年
野外活動センター

『北風』
キャストイング協力 (有)鈍牛倶楽部
(株)コスモプロジェクト
オフィスレクラム舎
(株)放映新社
エビス大黒舎

ロケーション協力 JAよこすか葉山
高木商店
いちごはうす西脇
南山館
先崎昭子
カネトキ農園

協力 京浜急行バス 総務部
東光寺

吉見町役場
フジトモ商店
奥山みかん園
大古商店
根岸本店
横須賀市役所
原農園
字幕制作 ホホワイトライン 設楽光明
音楽 渡辺雄司
劇用車 株式会社フィールドサービス
車両 清水健司
畠中直邦

『波にのまれて』

マリンコーディネーター 中村 勝
制作応援 竹山大貴
高井田充 原田裕介
深津拓也 弓削敦信

照明応援 井戸湧太 大河内保志
瀬口健太 信田征輝

エキストラ協力 有馬達之介 明石健五
内沼和宏 木原敬大
徳田健悟 松島彰吾
向井久美子 弓削敦信

協力 後藤アクアティックス
本栖湖青少年スポーツセンター
トヨタレンタリース神奈川
足立祐樹
サッポロビール
ブルーマリン

ロケーション協力 本栖湖観光協会
美容室ケイ
株式会社読書人

神楽坂FNビル
増輪尚見
浜田親一
Good mellows
キャストイング協力 SHREW
ZACCO

美術協力 ハイジ
引野太樹

長岡 進
三浦藍子
橋りサイクルコミュニティセンター
FlatHouseCafe
holiday apartment

衣装協力 FLAMINGO 下北沢店
音楽 塩野 海
車両 阿部史嗣

『不肖の娘』
キャストイング協力 ノックアウト
スターダス・21
JFCT

協力 トヨタレンタリース神奈川
第一興商

ロケーション協力 称名寺
HOTEL J2 新横浜
松和電子システム株式会社
カラオケスタジオ オペラ新百合ヶ丘店
大和フィルムコミッション
昭和音楽大学

美術協力 有馬悦郎
加藤哲哉
中村 圭
府中葬儀社
橋りサイクルコミュニティセンター
森さとみ
松本淳一

音楽 中野哲郎(昭和音楽大学)
車両 西川太清

『リセット』
キャストイング協力 夢工房
(株)株式会社ZEN Integration
(株)メインキャスト
泉水美和子
須田弥生



2月吉日、移転しました。

株式会社 曾根印刷

そねデザイン企画制作室

http://soneprinting.web.fc2.com

- ロケーション協力 臨港パーク
黒川青少年野外活動センター
(株)横浜技術コンサルタント
遺跡調査部 鈴木正久
高田馬場駅前広場
アイランドタワー
芝公園
マッティー夫人
原田佑介
宇津野達哉
有馬達之介
大河内保志
李恩美
- 美術・衣装協力 再来(サイクル)
(株)ミドリ安全
柴田啓祐
峯田秋桜美
山口オリエ
- エキストラ・撮影応援 須田あや音 吉崎祥太
中田俊一 北野剛志
李恩美 イ・イエナ
村上俊輔 徳田健悟
内藤昇平 細川遼平
浮邊佑希 藤本昇吾
谷口大介
- 音楽 大里信彦
車両 清水健司
- 『Voy! ~ある選手たちの戦い~』
撮影協力 日本ブラインドサッカー協会
八王子富士森公園クーパー・フットボ
ールパーク
アクサ生命保険株式会社
千葉県庁
松戸ウォーリアーズ
乃木坂ナイツ
T-wings
ミズノフットサルプラザ所沢
MAD City
ブランド古着 thalassicus
ブラインドサッカー日本代表のみなさん
- 『いつよいつよ』
協力 高浪隆一
与那覇洋子
佐和田京子
新崎聖子
山田史也
山田千晶
下地 誠
下地紗月
倉八啓四郎
倉八智恵
川満七重
脇本起代
原口麻紀
砂川さん一家
ゲストハウス鶴美荘
ゲストハウスびらふやー
ゲストハウス南国屋
ゲストハウス風家
ROAD HOUSE 雅歌小屋
パブレストラン ニューヨーク ニューヨーク
MINI クラブ フェアレディ
おかま居酒屋 もっちりら

- 居酒屋 サマー太陽
IT's BAR SMOKE
SOUL BAR MARVIN
みやこ九条の会
ピースアクション宮古
宮古島観光協会
宮古島 BBcom
宮古島のみなさん
伊良部島のみなさん
池間島のみなさん
- 音楽(三線演奏) 砂川正之
下地奈々子
友利美喜
前泊恵里
米濱 瞳
- 『シュプレヒコール』
映像協力 小山師人(「大義の春」)
- ロケーション協力 MINTON HOUSE
ゆるりと菜村さ来 小田急町田店
上海台所 王記
- 制作協力 Jさん
草加耕助
大森武徳
横浜交通労働組合 高速運輸支部
特定非営利活動法人 フィリピン日系人
リーガルサポートセンター
ポレポレタイムス社
- 『ふつうのかぞく』
ロケーション協力 小田原市立白山中学校
白山神社
宝善寺
スナックニューマリアン
ユーミーらいふ秦野店(株)
医療法人財団浜町小児科医院
医療法人財団菫窪病院
(有)松浦石材
- 制作協力 桐生百合子
桐生由紀子
下地 碧
足柄中学校演劇部のみなさん
足柄第44区 下田誠一
小田原市役所環境保護課
- 『明日へ』
キャスト協力 realwave
エーライツ
クイーンズファクトリー
エビス大黒舎
エスキューブ
大田怜治 室伏雄太
中尾海帆 李恩美
武田由樹 内匠真悠子
石渡亮平 大黒友也
中田俊一 中野 望
仲田 亮 中城夕奈
柴田 啓 原田祐介
田村修子 峯田秋桜美
本庄香奈 船木 穂
久保晃子 梅宮理美
松井友美 下村響子
向井久美子 小林真理子
中郷優子 神岡あけみ
児玉有紀 荒井るり子
山口オリエ 堀池成陽
藤崎翔太 木下侑紀
須藤博司 木村大介
- ロケーション協力 細山コーポ
小田急不動産株式会社
神奈川中央交通
藤の台団地の皆さん
喫茶店 セピア
幸家荘
昭和音楽大学

- 相模大野中央公園
協力 アサヒビール株式会社
吉森香織
音楽 中野哲郎
車両 清水健司
- 『歌いませ。』
キャスト協力 オフィスパレット
劇団青年座
ポセイドンエンタテインメント
希楽星
劇団ひまわり
- ロケーション協力 相模原市立大野台小学校
東京都立新宿高等学校
飯山温泉 美登利園
新百合トウェンティワンホール
銚子電気鉄道
京王電鉄バス
神奈川中央交通
開成町役場 産業振興課
松田警察署
高台親水公園
山王供養水辺公園
- 協力 南足柄市 内山自治会
南足柄市 内山地区の皆様
足柄上郡 開成町の皆様
エース小田原流通センター
足柄上郡合同庁舎 第2別館
あつぎフィルムコミッション
トヨタレンタリース神奈川
株式会社エクシング 堀江康明
昭和音楽大学
菅原良太
澤田元希
安藤友樹子
北野雄大
- エキストラ協力 石川真生 角田奈美枝
北野雄大 佐藤里香
下山万里奈 菅井詩織
高橋江海子 高畑和世
土井口恵 中村いづみ
長谷川友恵 増島愛美
矢作有沙 山崎友里江
金井由貴 國仲菜摘
児玉有紀 斉藤美希
内匠真悠子 辻さくら
辻もも子 藤沢奈々子
光木麻美 向井久美子
穴口敏子 安藤文枝
伊藤らん子 遠藤 実
大高美砂子 尾崎久美子
越智幸代 越智政信
川田アキ 川田アヤ
川田 勇 川田三千代
久保田カキエ 久保田滋
斉藤二三子 崎原キミ子
杉本喜久子 高崎笑美子
長谷川富子 波間正子
三浦勝利 三浦美恵子
宮川佳太 山口勝美
- 音楽 吉田和弘(昭和音楽大学大学院)
演奏 ピアノ:梅都優子
バイオリン:佐藤駿一郎
チェロ:生盛良介
車両 阿部史嗣

THANK YOU VERY MUCH!



発行日 2012年3月3日
編集人 芦澤浩明／山本隆世
発行 日本映画学校
〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-16-30
TEL:044-951-2511 / FAX:044-951-2681
印刷・製本 株式会社 曾根印刷
<http://soneprinting.web.fc2.com/>
メイキング 撮影:山口 潤／編集:柳 圭介
整音・選曲:勝亦 さくら
デザイン・予告編制作 曾根大樹(曾根印刷)
<http://daiko.tabigeinin.com/>
予告編音楽 佐々木敬



 日本映画学校
www.eiga.ac.jp